

第 106 回東海小児循環器談話会

日 時：平成 23 年 6 月 18 日(土)

会 場：大垣市民病院 管理棟 2 階 症例検討室 1

当番世話人：大垣市民病院 小児循環器新生児科 倉石 建治

事務局：あいち小児保健医療総合センター

共 催：東海小児循環器談話会, アポットジャパン株式会社, 泉工医科工業株式会社

1. 胎児水腫を伴う上室頻拍に対して胎内治療が奏効した 1 例

大垣市民病院 小児循環器新生児科, 産婦人科¹⁾

○太田宇哉, 郷 清貴, 伊藤充彰¹⁾, 西原栄起, 倉石建治, 田内宣生

在胎 33 週 0 日に胎児頻拍のため紹介。胎児心エコーで心拍数 238bpm の上室性頻拍, 胎児水腫を認めた。ジゴキシン 0.1mg, ソタロール 80mg の母体投与を開始し順次増量した。治療開始 5 日目に頻拍停止。(母体投与量:ジゴキシン 0.6mg, ソタロール 240mg)その後胎児水腫も改善した。34 週 6 日経膈分娩にて出生。間欠的 WPW 症候群と診断した。出生後も SVT 多発したがジゴキシン, フレカイニドの内服でコントロールできた。現在, SVT の再発なく外来通院中である。

2. 3 次元心エコー法と speckle tracking を用いて憩室構造の評価を行った左室憩室の 2 例

岐阜県総合医療センター 小児循環器内科

○金子 淳, 面家健太郎, 後藤浩子, 寺澤厚志, 手塚宣行, 桑原直樹, 桑原尚志

左室憩室はまれな先天性心奇形である。組織学的に muscular type と fibrous type に分類され, 壁運動については, muscular type は健常部と同様であり, fibrous type は無収縮と報告されている。診断には, 組織学的検査やカテーテル検査, CT, MRI など各種の検査法がある。今回我々は, 3 次元心エコー法 (3D echo) と speckle tracking 法を用いて憩室構造の評価を行った 2 例を経験したので報告する。

3. 胎児期に異常なく急速に進行した拡張型心筋症 (DCM) の乳児例

社会保険中京病院 小児循環器科, 心臓血管外科¹⁾

○今井祐喜, 大橋直樹, 松島正氣, 西川 浩, 久保田勤也, 吉田修一郎, 連 翔大,
櫻井 一¹⁾, 波多野友紀¹⁾, 野田 怜¹⁾, 寺田貴史¹⁾

母は第一子妊娠中に DCM と診断。第二子は胎児期に DCM と診断され 0 歳 11 ヶ月に死亡。このため症例においても胎児心エコーを施行。この時には明らかな異常は指摘されず。出生時にも明らかな異常を認めず退院。1 ヶ月健診時に哺乳不良あり。DCM の診断の元, 入院管理とした。内科的治療でのコントロール不良により日齢 113 に CRT 施行。一時的な wall motion の改善見られるも, その後, 状態悪化傾向であり日齢 132 に死亡。胎児期より観察し, 乳児期発症した DCM 例を報告する。

4. 心臓カテーテル検査中に急性心筋虚血に陥った房室中隔欠損の乳児例

静岡県立こども病院 循環器科

○金 成海, 加藤温子, 宮越千智, 伊吹圭二郎, 浅沼賀洋, 佐藤慶介, 濱本奈央, 戸田孝子, 芳本 潤, 満下紀恵, 新居正基, 田中靖彦, 小野安生

在胎 40 週, 体重 3030g で出生し, 生後 1 ヶ月時に心雑音のため当院紹介となった完全型房室中隔欠損の女兒. 体重増加不良と, 心エコー上軽度の房室弁逆流と中等度~高度の肺高血圧を認め, 生後 2 ヶ月時に心臓カテーテル検査目的で入院となった. 静脈麻酔にて通常の右心カテーテル検査を施行. 酸素マスクによる吸入負荷試験により肺動脈圧の低下を確認し, 右室造影に引き続き左室造影を行った所, 左室収縮の全周性低下(EF=18%)と, 心電図上の aV_F, および V1-6 誘導の ST 低下に気付かれた. 気管挿管の上, 大腿動脈穿刺し大動脈造影施行, 左冠動脈主幹部の狭窄が疑われた. その後の経過についても報告する.

5. 両側肺動脈絞扼術後に動脈管ステント留置術を行った左心低形成症候群・13トリソミーの1例

あいち小児保健医療総合センター 循環器科、心臓血管外科¹⁾

○河井 悟, 馬場礼三, 福見大地, 安田和志, 岸本泰明, 三井さやか, 早野 聡, 前田正信¹⁾, 村山弘臣¹⁾, 長谷川広樹¹⁾, 八神 啓¹⁾

症例は日齢 6 の女兒. 39 週 1 日, 4170g, 経膈分娩で近医産婦人科で出生. 出生後チアノーゼ及び多発外表奇形を認めたため, 前医 NICU に搬送. 同院で左心低形成症候群, 13トリソミーと診断. 家族の強い治療希望があり, 日齢 6 に当院に搬送. 日齢 13 に両側肺動脈絞扼術を施行した. 以後人工呼吸管理, PGE1-CD 持続静注を継続し, 日齢 49 に動脈管ステント留置術(ExpressLD 8 × 17mm, 最終径 9.1mm)を行った. 日齢 61, 前医へ搬送. 現在は退院され, 外来経過観察中である.

6. Norwood 手術後二心室修復を行った大動脈縮窄(CoA)複合兼大動脈弁下狭窄(SAS)

名古屋第二赤十字病院 小児科 心臓血管外科¹⁾

○横山岳彦, 岩佐充二, 酒井善正¹⁾

Norwood 手術後, 二心室修復に持ち込めた SAS を伴った CoA 例について報告する. 日齢 2 で入院. PGE1 にて PDA を開けた. その状態で, A 弁を通過する順行性血流が右腕頭動脈を越えて流れないことをエコーで確認. 日齢 15 両側 PAB を施行した. 日齢 82, Norwood 手術を施行. 術後右室流出路狭窄をきたし日齢 116, BT 短絡を追加した. 1 歳 10 ヶ月右室流出路再形成, 心室内血流転換術を施行しえた.

7. PS, TR に対し, Rastelli 再手術(TVR 含む)後, IE を生じた ccTGA の一例

大垣市民病院 胸部外科

○大河秀行, 玉木修治, 横山幸房, 横手 淳, 小坂井基史, 柚原悟史

症例は 29 歳男性. ccTGA, VSD, PS の診断に対し, 8 歳時に生体弁付き導管による Rastelli 手術, VSD 閉鎖術を施行した. 28 歳時, PS, TR が悪化し心不全を呈したため自作の三弁付き PTFE graft による Rastelli 再手術, TVR を施行した. 半年後, 血液培養で MRCNS が検出され IE と診断. VCM 投与で CRP は低下したが, 中止すると血液培養が陽転するため, 機械弁付き導管を用いた再々 Rastelli 手術, 再 TVR を施行した. 摘出した導管と人工弁の培養で全て MRCNS が検出された. 術後の血液培養は陰性化した. 弁の機構と感染についての考察を交えて報告する.

8. 先天性大動脈弁狭窄症に対して大動脈弁形成を施行した 13 歳男児の一例

あいち小児保健医療総合センター 心臓外科、循環器科¹⁾

○八神 啓, 村山弘臣, 長谷川広樹, 前田正信, 馬場礼三¹⁾, 福見大地¹⁾, 安田和志¹⁾,
河井 悟¹⁾, 三井さやか¹⁾, 早野 聡¹⁾

13 歳男児. 幼少期より mild ASr, valvular PS, の診断にて follow されていた. 今回 AS の進行を認め, 当院に紹介となった. カテーテル検査にて圧較差約 50mmHg の AS を認め, 手術を施行した. 様々な術式が検討されたが, 今回は大動脈弁形成術を施行し, 経過は良好であった. 術式の選択, 手術内容について議論してゆきたい.

9. 生直後より PVO を呈した無脾症、総肺静脈還流異常症、肺動脈閉鎖症に対して垂直静脈ステント留置を行い待機的に肺静脈還流異常修復術を行った1例

聖隷浜松病院 心臓血管外科、小児循環器科¹⁾

○渡邊一正, 小出昌秋, 國井佳文, 津田和政, 宮入聡嗣, 中嶋八隅¹⁾, 武田 紹¹⁾, 森 善樹¹⁾

症例は 1 歳女児. 37 週 4 日に体重 3224g で出生, 直後より高度肺うっ血あり Asplenia(A,L,X)CA, CAVV, DORV, PA, PDA, TAPVC(Ib), PVO と診断, 日令 1 に垂直静脈 ステント留置術, 日令 7 にステント再拡張術を行った. 5 ヶ月時に BT シャント術を行い, 10 ヶ月時に TAPVC 修復術+房室弁形成術+再 BT シャント術を行った. 現在人工呼吸器から離脱してグレン手術待機中である.

10. Freestyle 弁による肺動脈導管に狭窄をきたした1症例の考察

社会保険中京病院心臓血管外科 小児循環器科¹⁾

○寺田貴史, 櫻井 一, 阿部知伸, 波多野友紀, 野田 怜, 大橋直樹¹⁾, 西川 浩¹⁾,
久保田勤也¹⁾, 吉田修一郎¹⁾, 今井祐喜¹⁾, 連 翔太¹⁾, 松島正氣¹⁾

症例は 14 歳女児で, 先天性二尖弁による AS のため 7 歳時に Ross 手術を行い, 肺動脈は Freestyle 弁の 21 mm で再建していた. 術後より 1 cusp に血栓によると思われる陰影欠損を認め, 圧差が 50 mmHg 程度に徐々に進行してきたため肺動脈導管置換術を行った. 術中所見では, Freestyle 弁内を主体に陳旧性の血栓と線維組織の増生を認めた. 手術は, Freestyle 弁の後壁を残し, EPTFE の 1 弁付きパッチで再建した. 本例の狭窄原因につき文献的に考察し報告する.